

1. 現状と課題

4. 関係者会議でいただいた主な意見

関係者会議でのご意見①

- ・歩崎地域には良い資源がたくさんあり、ポテンシャルがある
- ・地元の人が歩崎地域のことを良く知らないなので、もっと地元を知ることが必要

関係者会議でのご意見②

- ・それぞれの活動主体同士のつながり、行政とのつながり、行政間とのつながりが不足
- ・これまで連携不足であった観光・レジャーと漁業関係者との関係性構築
- ・歩崎地域だけで考えるのではなく、他地域との連携の中で検討することが必要

テーマ①：食

- 活用可能性のある資源
 - ・レンコン、蓮田
 - ・湖岸のさわやかな空気
- 活用イメージ
 - ・ゴルフ場と連携した「家族でレンコン体験プログラム」

テーマ②：アクティビティ

- 活用可能性のある資源
 - ・霞ヶ浦、志戸崎の街並み
 - ・歩崎地域内の各施設
- 活用イメージ
 - ・ラクスマリーナを中心とした湖上・湖畔体験プログラム
 - ・暮らしや歴史体験プログラム

テーマ③：学び

- 活用可能性のある資源
 - ・帆引き船、歴史博物館
 - ・霞ヶ浦の魚食文化
- 活用イメージ
 - ・帆引き船と地域の歴史の学び体験プログラム

テーマ④：イベント

- 主な意見・今後の方向性
 - ・歩崎ならではの体験プログラムの検討
 - ・ストーリー性、テーマ性の付与
 - ・ターゲットの明確化
 - ・歩崎地域での宿泊検討
 - ・既存施設の更なる活用

テーマ⑤：プロモーション

- 主な意見・今後の方向性
 - ・SNSを活用したリアルタイムでの情報発信
(例：帆引き船の運行状況)
 - ・りんりんロードの地点別距離一覧表の作成
 - ・地域一体となった情報発信

5. 観光関連施設関係者ヒアリングから明らかになった主な課題

①交流センター

- 施設個別の課題：
 - ・雇用、労働力の確保
 - ・備品の収納スペース確保
- 歩崎地域の課題：
 - ・宿泊に寄与するコンテンツの不足
 - ・観光地案内版やサインの不足

②市水族館

- 施設個別の課題：
 - ・問い合わせへの対応
 - ・建物、ベンチ等の老朽化
 - ・施設の中へのトイレ設置
- 歩崎地域の課題：
 - ・地域内の連携充実

③市歴史博物館

- 施設個別の課題：
 - ・SNS等の情報発信
 - ・スマホ対応
 - ・他地域との連携
- 歩崎地域の課題：
 - ・郷土愛の醸成

④あゆみ庵・民家園

- 施設個別の課題：
 - ・運営ボランティアスタッフの高齢化
 - ・施設までの道の整備
 - ・民家園のトイレ整備
 - ・新たな観光体験メニューとしての活用（かまど体験、宿泊体験等）

⑤農村環境改善センター

- 施設個別の課題：
 - ・老朽化に伴う大規模修繕の実施
 - ・避難所機能、公民館機能の確保
 - ・採算性、各種オペレーションの検討
 - ・観光プログラムとの連携

⑥歩崎地域湖岸棧橋

- 施設個別の課題：
 - ・想定される利用シーンに合わせた棧橋レイアウト及び工事手法等の調整（例：遊覧船、Eボート、帆引き船、カヌー体験、プレジャーボート体験、釣り、カフェ等。H31年度以降着工予定）

⑦歩崎森林公園

- 施設個別の課題：
 - ・公園内の安全性の確保
 - ・利用者がお金を落とす仕組みの検討（例：簡易キャンプ場やオートキャンプ場等としての活用等）

⑧歩崎展望台

- 施設個別の課題：
 - ・展望台の管理方法の検討（くもの巣が張っていることがある等）
 - ・展望台までの案内が不十分
- 歩崎地域の課題：
 - ・地域内の連携充実